

平成19年第4回定例会採択請願・陳情要旨


[結果一覧へ](#)

請願第7号

加曾利市民の森市有地化の請願

若葉区加曾利町1298-2(外2筆)の市民の森(4,614平方メートル)は、市民の憩いの場として多くの人が集まっています。特に高齢者によるグラウンドゴルフ場として多くの人に利用されています。

この森は、広葉樹の古木が生い茂り、酷暑の中でも涼しくプレーができて、市民の健康増進にも役立っています。

ところが今、市民の森の利用者は、この場所が民有地のため、使用できなくなったり、樹木が伐採されたりしないかということをご心配しています。

そこで、千葉市がこの土地を取得し、公有地として市民が安心して利用できるようお願いいたします。


[先頭へ](#)

請願第9号

花見川第一保育所の耐震対策に係る仮設保育所の早期建設を求める請願

現在、花見川第一保育所の耐震対策については、児童の安全と良好な保育環境を確保するため、仮設保育所の建設計画が進められようとしています。

しかしながら、耐震対策が発表されてから4カ月余り経過していますが、いまだに建設場所の用地が決まらず、倒壊の危険のある建物で、毎日児童の保育が行われている状況が続ぎ、保護者の不安感も増大していることから、下記事項を請願します。

記

- 一刻も早く児童を安心かつ安全な建物で保育できるよう、仮設保育所の用地を早急に確保するとともに早期に建設すること


[先頭へ](#)

陳情第8号

宗教法人阿弥陀寺による「(仮称)桜の郷千葉加曾利緑風綾苑」建設計画についての陳情

宗教法人阿弥陀寺による加曾利地区の墓地建設計画は、私たち住民にとって多くの問題を抱えており、もし、墓地造成がなされれば、桜木町・加曾利町地区一帯に広がる緑豊かな自然環境が破壊されるばかりでなく、交通渋滞の問題や高齢者及び児童の交通安全確保の問題、犯罪温床の問題等、生活環境が悪化します。

また、加曾利町周辺の地域は、桜木町地区に広がる市営桜木霊園と計画されている墓地との間に挟まれる状況となり、住宅地の発展とともに世帯数の増加の傾向が阻まれ、市街化区域及びその周辺に広がる土地の有効活用による発展が阻害される懸念が生じます。

さらに、説明会の中で阿弥陀寺は、地域住民との融合や融和の姿勢を持ち合わせず倫理性に欠いた行動をとっており、本計画の必要性について、住民の納得しうる説明がなせず、営利目的の事業の疑いが強いことから、下記事項を陳情します。

記

- 宗教法人阿弥陀寺による「(仮称)桜の郷千葉加曾利緑風綾苑」建設計画の許可申請について許可を与えないこと


[先頭へ](#)

陳情第12号

「公立保育所のあり方(案)」について慎重にするよう求める陳情

8月29日、市は財政難を理由に、公立保育所60カ所を約半数にして、残りを民営化するとの方針を打ち出しました。

「公立保育所のあり方」では、待機児解消、保育ニーズの多様化にこたえるためと述べていますが、公的責任を後退させ、子供たちが安心して育つ権利を奪います。

千葉市は、11月21日の社会福祉審議会児童福祉専門分科会で審議し、12月にその方針を決定、公表した後、連携保育所と民営化する保育所を選定するとしています。

しかし、パブリックコメントでは、かつてない618件もの意見が寄せられ、その多くが、公立保育所の存続を望む声です。

市は説明責任を果たさず、市民参加の保証もせず、日程ありきで進め、なぜ公立保育所を民営化するのか十分な情報提供をしていません。

千葉市に住む子供たちが健やかに育つようにするためにも、「公立保育所のあり方」を強引に進めることなく、きちんと保護者、関係者の声を聞き、説明会を開くなど慎重にするべきであることから、下記事項を陳情します。

記

- 保護者、関係者、地域住民などに公立保育所の民営化について十分な説明を行うこと
- 関係者の意見をよく聞き、慎重に対応し、拙速な決定はしないこと